

だい かいさつぼろしじりつしえんきょうぎかい きろく
第27回札幌市自立支援協議会 記録

1 日時

へいせい ねん がつ にち かよう じ ぶん じ ぶん
平成28年11月1日（火曜）18時30分から20時30分まで

2 場所

さつぼろしやくしよほんちようしや かいかいぎしつ
札幌市役所本庁舎12階会議室

3 出席者

- あずまや ようへい あさひやまびよういん いりようそうだんしつ かちよう
東谷 洋平（旭山病院 医療相談室 課長）
- かとう のりこ しゃふく にれ かい そうごうしせつちよう あつべつくちいきぶかい
加藤 法子（(社福) 榆の会 総合施設長、厚別区地域部会）
- きたがわ さとこ しゃふく むぎ こかい そうごうしせつちよう こどもぶかい
北川 聡子（(社福) 麦の子会 総合施設長、子ども部会）
- くりむし ひろあき ゆう たくま とりしまりやくじぎょうぶちよう きよたくちいきぶかい
栗虫 宏明（(有) 拓真ワークス 取締役事業部長、清田区地域部会）
- こたに せいこ とくひ さつぼろ ひがしくちいきぶかい
小谷 晴子（(特非) 札幌アシストセンターマザー理事長、東区地域部会）
- さとう ともひろ しゃふく さつぼろししゃかいふくしきょうぎかい ちいきしえんぶ じりつしえんかちよう
佐藤 朋紘（(社福) 札幌市社会福祉協議会 地域支援部 自立支援課長）
- しげいずみ としまさ とくひ しゅうぎょう せいかつおうえん
重泉 敏聖（(特非) きなはれ 就業・生活応援プラザ とねっと セ
ンター長、就労支援推進部会）
- すぎた まこと しゃふく けいじんかい そうだんしつ かんりしや そうだんしえん
杉田 誠（(社福) 溪仁会 相談室こころ ていね 管理者、相談支援
部会）
- つまくら とくひ しょう しゃしゅうろうしえん かい や かんりしや
妻倉 ゆかり（(特非) 障がい者就労支援の会 あかり家 管理者、
中央区地域部会）
- なかむら なおと しゃふく さつぼろ かい しょうがいしやしえんしせつだい いえ
中村 直人（(社福) 札幌あさひ会 障害者支援施設第2よろこびの家
管理者、豊平区地域部会）
- ながい じゅんこ ほくせいがくえんだいがく しゃかいふくしがくぶ じゅんきょうじゅ
永井 順子（北星学園大学 社会福祉学部 准教授）
- はしもと やすひろ しゃふく あいけいえん ほくあいかん しゅにん ていねくちいきぶかい
橋本 泰宏（(社福) 愛敬園 北愛館 主任、手稲区地域部会）
- まきの じゅんこ しょう しゃ だいひよう しょう どうじしゃ
牧野 准子（障がい者によるまちづくりサポーター代表（障がい当事者
講師の会 すぷりんぐ 代表））
- むらい ともお しゃふく せいじょうがくえん きよたくかいごしえんじぎょうしよ
村井 友生（(社福) 聖静学園 居宅介護支援事業所 フルネス サー
ビス提供責任者、南区地域部会）
- わだ ぶんめい ごうどうがいしや しょうちよう きたくちいき
和田 文明（合同会社Forest サポートセンターれら 所長、北区地域

ぶかい
部会)

- やまもと あや さっぽろしじへいしょう はったつしょうがいしえん ちいきしえん
山本 彩(札幌市自閉症・発達障害支援センター 地域支援マネジャー)
- とだ けんいち しょう しゃそうだんしえん むーみん ちいき
戸田 健一 (障がい者相談支援センター夢民 地域づくりコーディネーター、オブザーバー)

4 けっせきいいん
欠席委員

- くろだ すみお とくひ りじちょう にしくちいきぶかい
黒田 澄雄 ((特非) ゆいまーる 理事長、西区地域部会)
- わたなべ みつぐ とくひ じりつせいかつしえん じむきょく しろいしくちいき
渡邊 貢 ((特非) 自立生活支援センターさっぽろ 事務局、白石区地域
ぶかい
部会)

5 ぎじがいよう べっし
議事概要 別紙のとおり

6 ほうちようしゃ めい
傍聴者 16名

< 議事概要 >

● 協議事項

1 会長・副会長の選任

立候補がなく、委員から推薦もなかったことから、事務局から会長に永井委員、副会長に小谷委員を推薦し、異議なく了承される。

● 報告事項

1 各部会からの中間報告

○ 永井会長

それでは、まず各部会報告に移りたい。部会報告について、活動内容は配布資料をご覧くださいこととし、これまで同様「部会運営で工夫していることや困っていること」を中心に共有し、さらなる部会の活性化に繋がればと思う。目安は1部会2分程度、質疑応答はすべての部会が終わったのちに行いたい。

○ 妻倉委員

今年度初めて野中式事例検討を実施している。困っていることについては、事業者へ地域部会の案内をお願いしたい。11月の定例会では、性にまつわるトラブルをテーマに取り上げる。

○ 和田委員

上半期、防災訓練に積極的に参加できた。ワン・オールホームページに掲載がある。来年度も積極的に参加したい。会報誌として「北の区から」もワン・オールホームページにある。困っていることは、会報誌を皆さんに拡散したい。今年度、相談部会も活動を開始している。11月11日に差別解消法の勉強会を開催する。

○ 小谷副会長

工夫していること、困っていることは、予算が少ないながら工夫してい

て、自立支援ネットワークと共催してイベントを開催している。先日もシンポジウムで永井先生に協力いただいた。内容は、移動支援の対象者拡大について。高次脳機能障がいの方の事例もあった。

○ 渡邊委員

定例会開始前にオープンカンファレンスを行っている。困っていることは、定例会に定期的に参加してくれる事業所が少ないこと。

○ 加藤委員

困難事例に対して部会委員で事例検討から行って、その場で解決できることは解決を図るようにしている。区民向けに差別解消法の講演を行っている。イベント的なことはあまり行っていない。

○ 中村委員

初めて学生の一身体験実習を開催し、参加が4名であった。困っていることは、定例会参加者が増えてグループワークができないこと。会場の検討をしたい。フォーラムの10回目を開催した。次年度以降どうするかは今後検討したい。会場費などにかかる予算にも困っている。

○ 栗虫委員

やりたいことを出して、優先順位を決めて行っている。他区の地域部会の見学をさせていただいたりして、枠を超えた活動を行っている。中央区の事例検討にも参加させていただいたが、清田区でもやってみたい。豊平区にも参加した。参考にできるものをやってみたい。

○ 村井委員

昨年度活動できなくて、今年度新たにスタートした。事例検討部会では、課題抽出を行っている。ネットワーク部会では、高齢・障がい者を地域で守るために民生委員とのネットワークづくりに取り組んでいる。部会のモチベーションが若干低下していて、参加率も下がっている。運営委員会が機能し、継続的に活動できるように検討していければと思う。

○ 永井会長

西区地域部会については、19ページのとおり。

○ 橋本委員

手稲区内のイベント参加や、学習会・交流会の開催を行っている。せ

つかく^{あつ}集まって活動^{かつどう}しても、継続^{けいぞく}していかないことについて話し合^{はな}っていき^あく中で、地域^{なか}課題^{ちいきかだい}についての話し合^{まいかい}いを毎回^{ぶん}30分^{おこな}ずつ行^{おこな}っていくことにな^{おこな}った。交流^{こうりゅうかい}会^{かい}では、事例^{じれい}検^{けん}討^{とう}も行^{おこな}っている。

○ 永井^{ながい}会^{かい}長^{ちやう}

それぞれの区^くの地域^{ちいき}部^ぶ会^{かい}で、イベント^{かいさい}の開^{かい}催^{さい}など^{かいさい}とあわ^あせて、課題^{かだい}の抽^{ちゅう}出^{しゅつ}を^わして^わいただ^わいで^わいる^わのが分^わかる。

○ 重泉^{しげいずみ}委^い員^{いん}

各^{かく}チ^ちーム^{ーム}がそれぞれ動^{うご}いている。研^{けん}修^{しゅう}チ^ちーム^{ーム}の研^{けん}修^{しゅう}は、虐^{ぎゃく}待^{たい}防^{ぼう}止^しや差^さ別^{べつ}解^{かい}消^{しょう}のセ^{せい}ミ^{いん}ナ^{みな}ー^おを行^{おこな}った。部^ぶ会^{かい}の課^か題^{だい}は、構^{こう}成^{せい}員^{いん}見^み直^{なお}し。も^もっ^もと^と企^き業^{ぎょう}を増^ふや^ふした^ふい。現^{げん}在^{ざい}は6社^{しゃ}。そ^それ^れか^から、医^い療^{りょう}関^{かん}係^{けい}者^{しゃ}が^いない^いこ^こと。札^{さつ}幌^{ぼろ}市^しの教^{きょう}育^{いく}委^い員^{いん}会^{かい}か^から^かは^か構^{こう}成^{せい}員^{いん}に^いな^なっ^なて^なも^もら^らっ^らて^らい^らる^らが、道^{どう}教^{きょう}委^いも^も含^{ふく}め^めない^いと。広^{こう}報^{ほう}誌^しに^しつ^つい^いて、取^とり^あげ^あて^あほ^ほしい^ほ情^{じょう}報^{ほう}に^{ほう}つ^つい^いて、他^た部^ぶ会^{かい}か^から^かも^も声^{こえ}を^あげ^あて^あほ^ほしい。

○ 杉田^{すぎた}委^い員^{いん}

工^く夫^{ふう}して^いる^いこ^ことは、市^し内^{ない}4圏^{けん}域^{いき}ご^ごとに集^{あつ}ま^まっ^まて^ま要^{よう}綱^{こう}に^{こう}つ^つい^いて^い話^はし^あ合^あっ^あて^あい^いる。こ^この^あ集^あま^まり^あは、意^い見^{けん}交^{こう}換^{かん}が^しや^よす^よい^いので^い良^よか^かっ^かた^か。部^ぶ会^{かい}内^{ない}で^いコン^{こん}セ^{せい}ン^{せん}サ^さス^すを^え得^えら^られ^れて^れい^いない^いが、地^ち域^{いき}診^{しん}断^{だん}の資^し料^{りょう}を^うん^{えい}営^{えい}会^{かい}議^ぎに^いて^いき^きょう^{きょう}して^いき^きたい。

○ 北川^{きたがわ}委^い員^{いん}

今^{こん}年^{ねん}度^ど、支^し援^{えん}力^{りき}向^{こう}上^{じやうじやう}セ^{せい}ミ^{いん}ナ^{みな}ー^{かい}を^{かい}開^{かい}催^{さい}した。聴^{ちやう}覚^{かく}障^{じやう}が^いい^い者^{しや}の支^し援^{えん}に^{いん}つ^つい^いて^いの^い学^{がく}習^{しゅう}会^{かい}も^はじ^じめ^めて。児^じ童^{どう}発^は達^{たつ}支^し援^{えん}セ^{せい}ン^{せん}タ^たー^{かい}と^いの^い共^{きやう}催^{さい}で^い研^{けん}修^{しゅう}会^{かい}を^に16日^{にち}に^い開^{かい}催^{さい}。困^{こま}っ^{こま}て^{こま}い^いる^いこ^ことは、構^{こう}成^{せい}員^{いん}が^{てん}勤^{きん}して^ひ引^ひ継^{きつぎ}が^{じゅう}充^{ぶん}分^{ぶん}で^いき^きな^なか^かっ^かた^かこ^こと。

○ 永井^{ながい}会^{かい}長^{ちやう}

発^は展^{てん}的^{てき}な^と取^とり^く組^くみ^をを^され^れて^れい^いる^いこ^こが^{いん}象^{しやう}的^{てき}だ^だつ^つた^たと^おも^もう^う。皆^{みな}様^{さま}か^から^かあ^あり^りま^まし^したら^らお^お願^{ねが}い^いし^したい。

定^{てい}例^{れい}会^{かい}へ^への^へ参^{さん}加^か者^{しや}の^{にん}数^{ずう}確^{かく}保^ほと^とか、参^{さん}加^か者^{しや}の^こ定^{てい}と^とい^いう^い課^か題^{だい}が^あつ^つた^た一^い方^{ほう}、豊^{とよ}平^{ひらく}区^くで^ふ参^{さん}加^か者^{しや}が^ふ増^ふえ^えて^いる^いので、工^く夫^{ふう}に^{じやう}つ^つい^いて^い情^{じょう}報^{ほう}提^{てい}供^{きやう}い^いた^ただ^だき^きたい。

○ 中村^{なかむら}委^い員^{いん}

工^く夫^{ふう}は^して^いない^い。統^{とう}計^{けい}は^と取^とっ^とて^とい^いない^いが、去^き年^{ねん}よ^より^りも、新^{しん}規^き事^じ業^{ぎやう}所^{じょ}の

かた さんか おも じぎょうしょ めい さんか
方の参加があるように思う。1事業所から3～4名の参加がある。これ
までの事業所も、当番で1名参加いただいている。

○ 小谷副会長

とよひらく ていれいかい なに もよお ほうこく はな あ
豊平区の定例会というのは何かの催しなのか。報告の話し合いなのか。

○ 中村委員

ていれいかい まいつきおこな こうし まね べんきょうかい じょうほうこうかん
定例会は毎月行っていて、講師を招いての勉強会や情報交換のグルー
プワークなど、参加事業所の興味があることを行っている。前後で運営
委員の話し合いも行っている。事業所が興味のあるところに参加してい
る。今年(ことし)は定例会の後にアンケートを取って、次回の取組(じかい とりぐみ)についての提案(ていあん)
をもらって、次回の参考(じかい さんこう)にしているのが工夫(くふう)かもしれない。

○ 永井会長

ちいき とくせい ちいき ようぼう き おも あたら じぎょうしょ
地域の特性もあり、地域の要望(ようぼう)も聞いていると思った。新しい事業所(じぎょうしょ)
の参入(さんにゅう)ということはあると思う。他の区(ほかに)でも、厚別区(あつべつく)のように、障がい(しょうがい)に限
らず、様々な分野(さまざま ぶんや)に参加(さんか)いただいて交流(こうりゅう)もあると思った。

○ 和田委員

がくせい いちにちじっしゅう だれ
学生(がくせい)の一日(いちにち)実習(じっしゅう)はどんなふう(だれ)に誰(だれ)がやったのか。

○ 中村委員

じぶん しゅつしんがっこう さっぽろ
自分(じぶん)たちの出身(しゅつしん)学校(がっこう)のつながり(さっぽろ)や、札幌(さっぽろ)アースアートプロジェクトと
いうところとの繋がり(つな)で、学生(がくせい)を引っ張(ひ)ぶることができた。内容(ないよう)は事業所(じぎょうしょ)に
一日(いちにち)来てもらって、勤め(つと)たときにどういった方(かた)と関(か)わるのか、事業所(じぎょうしょ)の
様子(ようす)を見てもら(み)え。若手(わかて)の会(かい)で企画(きかく)している。一日(いちにち)なので深(ふか)くない。

○ 佐藤委員

しょう しゃぎやくたい でまえこうぎ しゅうろうしえんすいしんぶかい きぎょうむ
障(しょう)がい者(しゃぎやくたい)虐待(やくたい)の出前(でまえ)講座(こうぎ)をして(しゅうろうしえんすいしんぶかい)いるが、就労(きぎょうむ)支援(しゅうろう)推(すい)進(しん)部(ぶ)会(かい)で企(き)業(ぎょう)向(む)け
セ(セ)ミ(ミ)ナ(ナ)ーはどのよう(どう)にや(や)ら(ら)れた(れ)か。「さぼサポ」や「サポコン」とは。

○ 重泉委員

けんしゅう こうし ほっかいどうろうどうきょく かた きぎょう すろど しつもん ぐたいてき しつもん
研修(けんしゅう)の講師(こうし)は北海道(ほっかい)労働(ろう)局(きょく)の方(かた)。企(き)業(ぎょう)から(すろど)は、鋭(しつもん)い質(ぐたいてき)問(しつもん)
があ(た)って、例(たと)え(え)ば、職(しよく)場(ば)内(ない)で障(しょう)がいのある(ある)方(かた)が暴(あ)れた(れ)場(ば)合(あ)い、どうす(どう)れ(れ)ば
よ(よ)いか(か)とい(い)う質(しつもん)問(もん)もあ(あ)った(た)。真(ま)面(め)目(め)に考(かん)え(え)て(て)い(い)る(る)。生(なま)の(こえ)声(こえ)を聞(き)くこ(こ)とが
で(で)きた(た)。障(しょう)がいのある(ある)方(かた)と(か)の関(か)わり(わり)や法(ほう)律(りつ)が分(わ)か(か)ら(ら)ない(ない)とい(い)う声(こえ)もあ(あ)っ
た(た)。直(ちよく)接(せつ)か(か)わ(わ)れ(れ)る(る)こ(こ)と(と)ろ(ろ)に周(しゅう)知(ち)を徹(て)底(てい)し(し)た(た)い(い)。

「さぼサポ」は広報誌で、協議会のホームページに毎回掲載して、事業所取材等も行っている。「サポコン」は若い人の交流会で、職員の離職があるので、その点に力を入れている。若手にやってもらっている。

○ 北川委員

中央区に訊きたい。事例検討に苦労するのだが、野中式事例検討についてどんなふうに行っているのか、簡単に教えてほしい。

○ 妻倉委員

手法を知っているワン・オールにも来てもらって、野中式の説明もしてもらった。事例提供者の医療機関からあまり事例説明をしないで始めて、分からないことを参加者からどんどん訊いてもらって話し合う。最後にまとめとしてアイデアの意見を聞く。結果を出さない。

○ 北川委員

本当の事例を出すという理解でよいか。

○ 妻倉委員

そのとおりである。

○ 牧野委員

重泉委員にお伺いしたい。活動予定で、車いすの方が利用できる事業所調査のとりまとめはいつ頃になり、とりまとめたものは公開されるのか。

○ 重泉委員

東区の地域部会で、就労系の事業所が利用できないという話があったので、段差があるかどうか、段差があっても、職員は支援しているのかといった点で調べている。今年度中に取りまとめたい。結果はホームページで事業所名を伏せて公表したい。

2 各プロジェクトチームからの中間報告及び課題整理状況一覧の確認

○ 永井会長

次に各プロジェクト報告に移りたい。資料は前回の第26回全体会で報告された内容に加えて、その後進捗状況が書かれている。進捗状況を各担当委員に報告いただき、共有できればと思う。目安は1プロジェクト

3分程度、質疑応答はすべてのプロジェクトが終わったのちに行いたい。

(1) ヘルパーの技術向上に関するプロジェクトチーム

○ 小谷副会長

人材が不足とか辞めていく方がいることについて、これまで東区地域部会を取り組んだ。9月から準備会のようなものを2回開催している。このチームは10名くらいで話し合いを進めていきたい。今後地域部会連絡会が開催されると思うので、その場で協力者を募集して動いていきたい。

(2) 教育・福祉・医療の連携に係る課題検討会

○ 北川委員

今年度も放課後デイの参観日を、10区で1か所ずつに広げていきたいと思っている。前年度、非常に評判が良かった。もう一点、インクルーシブと合理的配慮について取り組んでいきたい。

(3) 住まいに関するプロジェクトチーム

○ 妻倉委員

これまで中央区地域部会でできることをやってきた。そろそろ全市での取組を提案して、課題整理を進めたい。中央区地域部会としては、ガイドブックを完成させるところまでで、今後は全市からもプロジェクトにご参加いただければと思っている。

(4) 重複障がいに関するプロジェクトチーム

○ 小谷副会長

2年前から行われているプロジェクトチーム。今年度に入り、訪問看護ステーションとの研修会を開催した。研修は、構成員の所属での活動報告や、家族からの報告などをした。訪問看護ステーションからは、高齢のケアマネのような方は障がいにはいないのかと聞かれた。相談室のことが訪問看護ステーションに知られていないのだと感じた。今後は、訪問看護のリーフレットなどを作成していきたい。

(5) 精神障がい者地域生活移行推進プロジェクトチーム

○ 永井会長

相談支援部会への課題提出と別に、道主催の研修があったことなどから始まっている。9月16日に会議を開催し、連携強化と情報共有から地域

移行推進をテーマにしている。まず、交流から進めているが、精神保健福祉士の方を中心に話しやすい場づくりを行いたい。

(6) 研修（人材育成）プロジェクトチーム

○ 重泉委員

第1回の研修を2月に行いたい。レベル2についても検討を始めていきたい。

○ 札幌市（小野寺職員）

研修プロジェクトの資料については、近日中にホームページにアップしたい。バリアフリーの調査については、資料3の4ページ、課題No.53から始まり、就労支援推進部会で調査を進めていただいている。

<以下質疑応答>

○ 山本委員

重泉委員に尋ねたい。北海道の協議会との情報共有について前回も確認をと話している。私も道の協議会の人材育成部会に参加しているので、道に対して情報交換をお願いしたいと発言したところ、札幌は政令市ということで大きく、一方で圏域ごとの差もあるので、基幹センターに参加いただいていること。北海道全体に関することなので、札幌だけというのはとのこと。今のところどこまで整理されているのか。

○ 重泉委員

全くされていない。

○ 永井会長

市の協議会と道の協議会とのすみ分けは、重泉委員が提起しているが、道の協議会の情報について、戸田オブザーバーからお願いしたい。

○ 戸田オブザーバー

人材育成部会に直接参加はしていないが、各圏域、身近なところで基本的・基礎的な研修を実施してほしいという話が、道から地域づくりコーディネーターにおりてきている。それを受けて、道の研修の検討が始まっている。これまでも道と札幌市のすみ分けについて、整理も話し合いも回答もされていない。

○ 永井会長

進捗がないという答えになるが。

○ 重泉委員

今は企画で手一杯である。専門部会連絡会では、北海道との連携が課題だとしている。札幌市から誰かが出た方がいいという話題は出ている。やり方は道も四苦八苦している。札幌市として、どうしたら代表が行けるのか、情報収集ができればいい。

○ 山本委員

おがるについては、研修プロジェクトチームと打ち合わせをしたい。道からは、ワン・オールに出てもらっているし、他にもとはならないということ、札幌市だけ代表をとということにならないと言われた。今後も道と継続して、運営委員会で審議してもらえればと思う。

○ 永井会長

道の協議会では、道内の全市からというわけにもいかないの、市の代表は限られたところである、情報共有ということでは、話し合ってみたいと思う。

○ 北川委員

ホームページに載ると聞いたので、12ページの寺田さんに「子ども部会」を加えていただきたい。子ども部会から1名入っている。

○ 永井会長

精神障がい者地域生活移行推進プロジェクトの補足はよろしいか。

○ 東谷委員

今は、まず繋がりを作っている。長期入院されている方の退院となると、いろいろな課題があって、病院として進まない理由もそれなりにあるのを、どこまで話していいのかと思いつながりながら参加している。少ないかもしれないが、一人でも多くの方が地域で生活できたらと思って議論している。

○ 永井会長

地域移行は、知的障がい、身体障がいからも進めていることも、運営会議で確認していることを補足したい。プロジェクトについては、課題整理一覧から始まっている。

プロジェクトにはなっていないが、運営会議では移動に関する課題にも

とく ぐ いたく そうだん しえん じぎょうしょ じれい しゅうしゅう おこな ようけんがい
取り組んでおり、委託相談支援事業所からの事例収集を行った。要件外
による適用外の事例も調べている。運営会議でとりまとめて、東区の研修
でも一部紹介させていただいたが、札幌市の協議会でも提案、情報共有
させていただきたいと考えている。

○ 北川委員

こども ぶかいほうこく い わす しゃかいできょうご ようちえん ほいくえん しょう
子ども部会報告で言い忘れたが、社会的養護や、幼稚園、保育園にも障
がい児がいることについて、全体的に、子ども子育て施策との連携が弱い
ので、連携を強めていくことが必要と考えている。

● 協議事項

(1) 年間活動報告における重点項目の示し方について

○ 永井会長

つぎ きょうぎじこう うつ ぜんかい だい かいぜんたいかい わだい
次に協議事項に移りたい。前回の第26回全体会でも話題になったが、
じりつしえんきょうぎかい じゅうてんこうもく しめ かた
自立支援協議会としての重点項目の示し方についてである。こちらは一度
うんえいかいぎ あず いただ ぎろん
運営会議で預からせて頂いて議論するとなっていたが、運営会議での
じょうきょう ふく じむきょく せつめい ねが
状況を含めて事務局から説明をお願いしたい。

○ 札幌市（小野寺職員）

がっ うんえいかいぎ かだいせいり かく う
10月の運営会議では、課題整理から各プロジェクトチームが生まれてい
ることを踏まえて、各プロジェクトの中で重点項目を示していったらどう
かという話があった。特に、6つのプロジェクトと移動の課題で整理して
はなし とく いどう かだい せいり
いることから、重点課題を示すべきというのが運営会議での意見。

○ 永井会長

こんねんど
今年度はそれでよろしいか。

< 異議なく了承される >

○ 永井会長

かだい いけん あお
また課題がありましたら、ご意見を仰ぎたい。

(2) さっぽろ障がい者プラン策定に関する実態調査・今後の進め方について

○ 永井会長

次にさっぽろ障がい者プランに関してである。これまでも何度も議題になり、先日実態調査項目についても各委員からご意見を頂いているが、まずは担当係から説明をお願いしたい。

○ 札幌市（樋口事業計画担当係長）

見直しの体制は、過去の検討体制を踏襲して、審議会や協議会などでご意見を頂きながら、協議会委員の皆様にも個別にご意見を伺うことがあると思う。見直しについては、委員の皆様からのご意見を踏まえて検討していきたい。

○ 東谷委員

精神科病院への対象者の調査について、病院に送られてくるのか、ご本人に送られてくるのか。

○ 札幌市（樋口事業計画担当係長）

本人あてについては直接ご本人に。入院患者調査は、病院で入力いただいてご協力いただきたい。

○ 北川委員

検討体制のところで、団体に委員を出してもらおうと思ったが、個別にということの意味をお教えいただきたい。

○ 札幌市（樋口事業計画担当係長）

基本的には各審議会から推薦していただく。最終的には障がい団体に依頼していくが、具体的にどの団体にということは詰めていない。バランス良くメンバーを集めたいと考えている。

○ 札幌市（高木職員）

全体的には、審議会や協議会からと、障がい関係団体に委員を依頼する予定。その上でバランスをとる必要があれば、個別にも依頼することがあるかもしれない。

○ 小谷副会長

施設入所者調査について、施設職員が聞くときに、介護を受けている、世話をしている人に本音の話ができるものか疑問がある。誰かが出向いて話を聞くことはあるのか。

○ 札幌市（樋口事業計画担当係長）

障がい当事者による聞き取り調査も予定していて、まちづくりサポーターに市の職員も同行して、そういった懸念を補う予定である。

○ 永井会長

入院患者調査について、ご本人が書ける方もいると思うが。

○ 札幌市（高木職員）

病院で記入いただきたいと考えている。病院に入院されている方全員を対象にするということもある。統計上のバランスに差異が生じてしまうこともあると思うので、病院職員に一括でお願いしたい。

○ 永井会長

病院の負担はありそうである。前回検討に参加されていた委員からは何かあれば。

<特になし>

● その他

(1) 発達障がい者支援体制整備事業からの報告

○ 永井会長

発達障がい者支援体制整備事業について、山本委員から報告をお願いしたい。

○ 山本委員

発達障がい分野が、各部会にまたがっているので、資料に基づいて、まとめてこの場でご報告したい。

○ 加藤委員

札幌市では、ネットワークづくりについて、子どもの心のネットワーク事業もある。障がいに特化していないが、診療体制との連携を取っている。医療につなぐのが難しい部分である。そこはお互いに連絡を取ったり、連携したりしていけたらいいと思う。

○ 山本委員

そのとおりだと思う。コンシェルジュ事業の担当者や、ちくたくにも入ってもらっている。入院病床のこと等も課題だと思っている。今後もお力添えをお願いしたい。

○ 牧野委員

札幌市にご質問したい。当事者から質問を受けているが、ヘルプマークの進捗状況はどうなっているか。

○ 札幌市（樋口事業計画担当係長）

直接の担当ではないが、29年度中を目途に調整している。

○ 佐藤委員

お配りしている福祉用具機器展について、裏面にセミナーの記載をしているが、牧野委員が当事者による講師派遣事業のPRを行う講演をする。